

富山県の庚申塔

庚申塔調査資料

金沢市 滝本やすし

2015/12/29

富山県の庚申塔 ―形態と像容による分類―

滝本 やすし

一 はじめに

富山県内での庚申塔の調査研究は、一部の市町村単位では詳しく行なわれているようであるが、全県単位での報告はされていないかと思われる。砺波市の尾田武雄氏、富山市の平井一雄氏、朝日町の清原為芳氏ほか多くの方々のご協力をいただき、富山県内の庚申塔のほとんどを記録することができたかと思える。

この報告は平成五年の北陸石仏の会例会での発表をもとに、その後の調査記録を追加したものである。

二 庚申信仰

十干(甲乙丙丁…)と十二支(子丑寅卯…)との組み合わせにより、六十日に一度巡りくる庚(かのえ)申(さる)の日の夜に、体の中にいる三戸(さんし)という虫が人体を抜け出して、天帝にその人の罪を報告に行く。その報告をもとにしてその人の寿命が決められるので、人々は庚申の夜は寝ずに過ごし、三戸が体内より抜け出すのを防ぐ。

もとは中国の道教の延命呪法の一つであったが、平安時代に日本に入り貴族の娯楽となった。その後仏教と結びついて、室町時代以降全国に民間信仰として広まった。

三 庚申講

庚申信仰は「講」によって行なわれた。この講は集落の何件かの仲間できており、庚申の夜には宿(当番)の家に集まり青面金剛の絵像を掛け各種の供え物をして、読経・会食等が行なわれた。

講の様式は地域・講ごとに違いがみられる。また青面金剛の絵像は木版のものや手描きのものがあり像容も様々である。北陸地方にみられる絵像の多くは関東や関西方面の庚申堂で出されたものと思われるが、地元の絵師によって描かれた絵像もみられる。

現在では講を続けて行なっている集落は少なくなっており、内容も簡素化されているようである。

四 青面金剛

陀羅尼集経・第九の大青面金剛呪法に説かれている仏像で、三眼四手で二鬼を踏みつけ、二童子と四薬叉を従えた忿怒像である。

石造物の青面金剛の多くは一面六手像であり、二手像、四手像、八手像などもみられる。またこれらには経軌にみられない日月輪、猿、鶏等を伴うものが多い。



庚申講の掛軸(青面金剛絵像)
富山市猪谷 西禅寺所蔵(加賀沢講)

五 庚申塔

清水長輝著『庚申塔の研究』（昭和三十四年、大日洞）に次のように記述されている。

- ①庚申信仰によって建てたことを銘文にしるしてあるもの。
- ②青面金剛の像か文字をきざんだもの。（江戸時代では庚申信仰に無関係な青面金剛の信仰はなかったと思われるから）
- ③寒目塞耳塞口の三猿か、その一部があつて他の造塔目的をしるさないもの。（三猿の形態は庚申信仰によって生まれたと思われるから）
- ④二猿形態以外の猿でも、塔の全体が他の庚申塔と類型的なものや、日月などをもなつて、おおむね庚申信仰のために建てられたことが想像されるもの。（施主は庚申講でも他の目的で造塔したものと、庚申塔や庚申祠への奉納物、自然石など伝承的なものは除外する）。

六 庚申塔の種類

【文字塔】

「庚申」「庚申塔」「庚申供養塔」「庚申塚」等庚申の文字を刻むものや「青面金剛」「南無青面金剛」等青面金剛の文字を刻むものが多いが、関東地方では山王二十一仏種子や「南無妙法蓮華経」「南無阿弥陀仏」などを刻むものも見られる。

【像塔】

庚申さんと言えば青面金剛と言っても過言ではないほど像塔のほとんどは青面金剛像である。関東地方では青面金剛が庚申信仰の主尊になる以前から多くの庚申塔が建てられており、様々な主尊が彫られた庚申塔がみられる。

北陸地方の庚申塔には青面金剛以外の像は少なく、青面金剛が庚申信仰の主尊になつてから信仰が伝わってきたようである。

七 富山県の庚申塔

文字塔 三四基
像塔 一六七基
総数 二〇一基（平成二十七年十二月現在確認のもの）

八 形態による分類 文字塔

文字塔の多くは自然石（川石）をそのまま用いているが、射水市新湊などでは割石（海石）を使用したものもみられる。また角柱型に加工したものもみられるが、数は少なく分布も点在している。

「庚申」「庚申塔」「庚申塚」の文字塔は新しいものが多いが、その多くは明治時代のものである。富山市花崎の「南無青面金剛」に延享元年（一七四四）、射水市放生津の「庚申塚」に嘉永二年（一八三九）の銘がみられる。



九 形態による分類 像塔

【A】角柱型

黒部市宇奈月町にみられるが数は少ない。後述の笠付角柱型の笠を無くしたような形態である。笠付角柱型よりも年代的に古いのではないかと思われるのだが、確かではない。

朝日町石谷の青面金剛像（二面六手）も笠および台石を伴わないが、笠付角柱型の笠と台石とが後に失われたと考えられるので笠付角柱型に分類する。

【B】笠付角柱型

黒部川流域の朝日町・入善町・黒部市宇奈月町・黒部市北部に多くみられる。

笠は切妻型のものや唐破風のものがあり、切妻型のもものは旧北陸道の下街道に、唐破風のもものは旧北陸道の上街道に集中しているようである。多くは日月輪を有し、2鬼・2童子・4葉又・1鶏（切妻型）または2鶏（唐破風）であるが、猿の数は0、1、2、3とまちまちである。またこれらには台石があり、猿や鶏はこの台石に彫られている。



切妻型のものでは朝日町境西町の青面金剛像（一面四手）に安永九年（一七八〇）、富山市梅沢三丁目海岸寺の青面金剛像（一面六手）に寛政二年（一七九〇）の銘がある。また唐破風のものでは射水市中新湊江柱庚申堂の青面金剛像（二面六手）に文政十三年（一八三〇）、朝日町殿町の青面金剛像（一面六手）に安政六年（一八五九）の銘がある。

（二面六手）に文政十三年（一八三〇）、朝日町殿町の青面金剛像（一面六手）に安政六年（一八五九）の銘がある。

【C】角板型

布施川の両岸（東布施Ⅱ黒部市南部、西布施Ⅱ魚津市北部）にみられる。大型の角板状のもので笠や台石がない。多くは日月輪を有し、1鬼・2童子・4葉又であり、猿の数は1または3、鶏の数は1または2である。

魚津市東尾崎の青面金剛像（一面四手）に文政三年（一八二〇）、魚津市布施爪布勢神社前の青面金剛像（一面四手）に文政四年（一八二一）の銘がある。この二基は同じ人物の作と思われる。魚津市大海寺野の青面金剛像（一面六手）には明治二十八年（一八九五）の銘がある。また黒部市尾山谷川家の青面金剛像（一面六手）は昭和元年の建て替えである。

魚津市天神野の青面金剛像（二面六手）と魚津市立石の青面金剛像（一面六手）の二基は小型の角板型もので、立石のものには慶応三年（一八六七）の銘がある。



【D】笠付円盤型

富山市大山町の大庄地区に四基みられ、すべて青面金剛像（二面六手）である。この型の石造物は庚申塔以外でもこの地区周辺に多くみられ、比較的大型のものである。

この四基の庚申塔には全て年号が刻まれており、時代によ



る彫像の変遷がはっきりとみられる。

【E】光背型

最も多い型で県下全域にみられるが、富山市から砺波平野東部にかけて特に多く分布しており、台石のあるものと台石のないものとがみられる。

青面金剛一面六手剣人像のものも多くには台石があり、この台石に銘が刻まれているもの

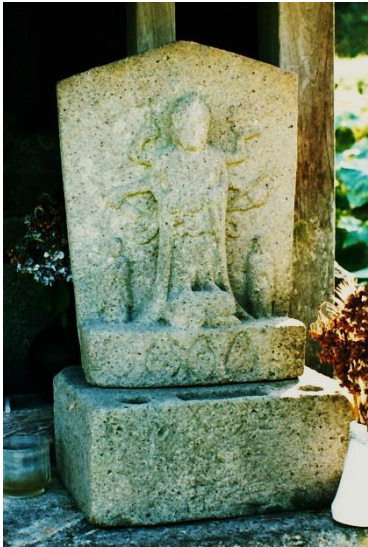
のいくつかみられ、文化文政天保年間のものが多い。日月輪の有無はまちまちで、2鬼のものが多く、童子の数は0または2で、薬叉は無く、猿の数は0または3、鶏の数は0または2である。

青面金剛一面六手掌像のもの多くには台石がなく、台石のあるものについてはその台石はおそらく後補と思われる。日月輪の有無はまちまちで、鬼・童子・薬叉はなく、猿の数は0または3、鶏の数は0または2である。

またこの光背型のものには青面金剛一面四手像や青面金剛三面六手像もみられるが数は少ない。

【F】駒型

将棋の駒のような形のもので、県下全域にみられるが数は少ない。氷見市に石動山との関連と思われるものが三基あり、同様の型のは石川県七尾市にもいくつかみられる。比較



的小型のもので、多くは日月輪を有し、1鬼・2童子で薬叉を伴わない。また猿の数は0、2または3で、鶏の数は0または2である。

氷見市宇波観音寺の青面金剛(一面六手)に享和三年(一八〇三)の銘がある。

【G】割石

割石の中央を彫りくぼめ尊像を浮彫にした形で、砺波地方にみられる。この型の石造物は、庚申塔以外でもこの地方によくみられる。

砺波市広上町の青面金剛(一面六手)には年号はないが「準慶作」の銘が刻まれている。また高岡市太田辰ノ口の三宝荒神(三面六手)に昭和四年(一九二九)の銘がある。

十 像容による分類

【イ】青面金剛 一面六手剣人像

県下全域に最も多くみられる。一般的な姿は、向かって右辺に輪宝・人身・弓を持ち、向かって左辺には矛(三股叉)・剣・矢を持っている。しかし年代的に古いものには異なった持物のものが多くみられる。

射水市白銀町眞福寺の青面金剛に享保九年(一七二四)の銘がある。この像は普通人身を持つところが鈴のようである。

富山市梅沢三丁目海岸寺の寛政二年

(一七九〇)のものや

富山市富岡町の寛政十二年(一八〇〇)の

ものには人身が彫られている。



【ロ】青面金剛 一面六手合掌像

神通川周辺および立山道にみられる像で、中央の二手が合掌形である。他の四手の持物はまちまちである。この形のは年代的に比較的古いものが多い。関東地方では大部分がこの合掌形で、新潟県や岐阜県でもこの形が多くみられる。

神通川周辺に特に多くみられ、岐阜県の飛騨市のものと酷似している。またこの地域の絵像（庚申講の掛軸）は一般的な一面六手剣人像で、石造物よりも新しいと思われるものが多い。



このことから一面六手合掌像は飛騨地方からの石造物としての移入ではないかと考えられる。

立山町芦峯寺のものに宝永三年（一七〇六）、大山町下ノ番のものに寛保三年（一七四三）、富山市堀川小泉のものに明和二年（一七六五）の銘があるが、神通川周辺のものには年号がみられない。県境を越えた岐阜県飛騨市小豆沢のものには台石に延享元年（一七四四）の銘がみられるが…。

【ハ】青面金剛 一面四手像

県下全域に点在するが、数はそれほど多くない。比較的古いものも多く、持物はまちまちである。

この像のある集落の絵像（庚申講の掛軸）はまだ一部しか確認していないが、石造物と同じ像容のものがいくつかみられる。このこ



とから一面四手像は石造物としての移入ではなく、講の掛軸の姿をもとに彫られたものが多いのではないだろうか。

一面四手像で最も古い銘のあるものは立山町末三賀のもので元禄十三年（一七〇〇）、最も新しい銘ものは射水市高寺の天保六年（一八三五）である。

【ニ】青面金剛 三面六手像

県下では黒部市、滑川市、立山町に各一基確認している。いずれも光背型のものであるが、年号が刻まれていないのでいつ頃のものかわからない。また庚申講の掛軸も未調査である。

【ホ】青面金剛以外の像

県下では三宝荒神像と三猿像が二基、烏枢沙摩明王像、猿田彦神像、女性神像？、一猿像がそれぞれ一基みられる。烏枢沙摩明王像については庚申像として造立されたものではなく、後に庚申として信仰されたものであろう。

上市町和合の三宝荒神像に安政四年（一八五七）、高岡市太田辰ノ口の三宝荒神像に昭和四年（一九二九）の銘がある。富山市本郷三区の女神像は「庚申塔」と刻まれており、享和元年（一八〇一）の銘がある。富山市東猪谷に猿田彦神像がみられるが、この近くの西禅寺に庚申講に用いる猿田彦神像の掛軸があり、これには昭和五年（一九三〇）の銘がある。また高岡市手洗野に三猿像が、高岡市赤丸浅井神社に一猿像（丸彫り）がみられる。黒部市中野密應寺の三猿像は近年の作である。

富山県庚申塔一覧

[型] A：角柱型 B：笠付角柱型 C：角板型 D：笠付円盤型 E：光背型
 F：駒型 G：割石および前面加工 H：自然石 I：その他
 [堂] ○は木造の堂、□は木造以外の堂に納められている。

住所	所在地	主尊	型	月	鬼	童子	杖	猿	鶏	年号	西暦	堂	備考					
朝日町	境	一里塚	青面金剛	1	面	6	手	E	掌	0	2	0	2	2		□		
	境(西町)	路傍	青面金剛	1	面	4	手	B	有	0	2	4	1	2	安永9	1780		
	境(西町)	共同墓地	青面金剛	1	面	6	手	F	有	1	2	0	0	2		□		
	横尾	路傍	青面金剛	1	面	6	手	E	有	1	2	0	3	0		□		
	沼保	路傍	「庚申塚」					H	-	-	-	-	-					
	泊	松林寺	1 青面金剛	1	面	6	手	E	有	0	2	2	0	2		□		
	同	同	2 青面金剛	1	面	6	手	E	有	2	2	4	0	0		□		
	月山	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	1	2		□		
	南保	清水寺参道	青面金剛	1	面	4	手	E	有	2	2	4	1	1	天明6	1786	○	
	南保	清水寺	「ウーン・青面大金剛神」					G	-	-	-	-	-					
	南保	小山家	「庚申塔」					H	-	-	-	-	-					
	石谷	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	1	2	4	0	0		□		
	舟川	路傍	青面金剛	1	面	4	手	B	有	2	2	4	1	2		○		
	三枚橋	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	3	2		□		
	柳田	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2		□		
	横水	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	3	2		□		
	高橋	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	1	2		□		
	藤塚	神明宮	1 「庚申」					H	-	-	-	-	-	明治23	1890			
	同	同	2 「庚申・地神」					H	-	-	-	-	-	大正元	1912			
	同	同	3 青面金剛	1	面	6	手	B	有	1	2	4	3	2		○		
	殿町	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	3	2	安政6	1859	□	
	細野	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2		□		
	山崎(辻)	路傍	1 青面金剛	1	面	4	手	E	無	0	0	0	0	0		□		
	同	同	2 青面金剛	1	面	6	手	E	無	0	0	0	0	0		□		
	山崎(花房)	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2		□		
	山崎(坊)	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	1	2	4	2	2		□		
入善町	舟見	十三寺境内	青面金剛	1	面	6	手	B	無	2	0	0	0	0		□	一石に両界大日、不動	
	舟見	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2		□		
	同	同	青面金剛	1	面	6	手	E	有	2	2	0	1	1		□		
	舟見	羽黒神社	「庚申塔」					H	-	-	-	-	-					
	新屋	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	1	1		○		
黒部市	宇奈月町朝日中谷	路傍	青面金剛	1	面	6	手	A	有	2	2	2	2	2		□		
	宇奈月町朝日	千光寺	1 青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2				
	同	同	2 青面金剛	1	面	6	手	E	有	2	2	4	2	2		○		
	同	同	3 青面金剛	1	面	6	手	E	無	2	0	0	0	0		○		
	宇奈月町下立	全龍寺境内	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	2	2		○		
	宇奈月町下立	路傍	青面金剛	1	面	6	手	F	有	0	2	0	0	0		○		
	宇奈月町下立	路傍	青面金剛	1	面	6	手	E	有	2	2	0	?	0		○		
	宇奈月町浦山	法伝寺参道	青面金剛	1	面	4	手	B	有	1	2	4	2	2		□		
	宇奈月町柝屋	路傍	青面金剛	1	面	6	手	A	有	2	2	0	1	1		□		
	宇奈月町熊野	路傍	青面金剛	1	面	6	手	A	有	2	2	0	2	2		○		
	若栗	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	1	2		□		
	大越	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	3	2		○		
	舌山	路傍	「奉請南無青面大金剛童子」					A	有	-	-	-	-	寛政4	1792			
	中坪	路傍	青面金剛	1	面	6	手	B	有	2	2	4	1	2		□		
	若栗	白福寺	「御庚申塚」					H	有	-	-	-	-	明治17	1884			

	長屋	路傍	青面金剛 1面6手	B	有	1	2	2	2	2				□	
	荻生	妙柳庵	青面金剛 1面6手	B	有	2	2	4	1	2				□	
	三日市	路傍	青面金剛 1面4手	E	有	0	2	0	1	2				○	
	中野	密應寺境内	3猿	-	-	-	-	-	3	-					
	三島	八心大市比古神社	青面金剛 1面6手	B	有	2	2	4	2	2				□	
	植木	松村家	青面金剛 1面4手	B	有	2	2	4	1	2				□	
	堀切	路傍	青面金剛 1面4手	B	有	2	2	4	1	2				□	堀切講
	堀切	路傍	青面金剛 1面4手	B	有	1	2	4	1	1				○	立野講
	立野	路傍	青面金剛 3面6手	C	有	0	0	0	0	0				□	
	神谷	路傍	青面金剛 3面6手	E	有	0	0	0	3	1				□	
	中陣	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	2	1	1				○	
	朴谷	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2				○	
	尾山	谷川家	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2	昭和元	1926		○	
	釈迦堂	路傍	青面金剛 1面6手	E	無	0	0	0	0	0				□	
	田耩	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	0				○	
	池尻	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	0	0	0	3	1?				○	
	同	同	青面金剛 3面6手	C	有	0	0	0	0	0				○	
	嘉例沢	路傍	青面金剛 1面6手	B	有	2	2	4	2	2				□	
	福平	路傍	青面金剛 1面6手												
魚津市	長引野	神明宮	青面金剛 1面6手	C	有	2	2	4	3	1				□	
	布施爪	布施神社前観音堂	青面金剛 1面4手	C	有	2	2	4	3	1	文政4	1821		○	
	小川寺	千光寺門前	1 青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2				○	
	同	同 境内	2 青面金剛 1面6手	C	有	1	2	2	3	0				○	
	天神野	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	?	2	0	0	1				□	
	東尾崎	路傍	青面金剛 1面4手	C	有	2	2	4	1	1	文政3	1820		□	
	西尾崎立石		青面金剛 1面6手	C	有	1	2	2	3	2	慶応3	1867		□	
	仏又	路傍	青面金剛 1面4手	C	有	?	0	0	3	?				□	
	東山	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2?	2	0	1	1				○	
	東山	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	1	2	4	2	2				○	
	東山	梅昌寺門前	青面金剛 1面6手	E	有	1	0	0	0	0					
	本江	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	2	3	2				□	
	三田	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	1				□	
	釈迦堂	路傍	青面金剛											○	
	大海寺野	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	1	1	明治28	1895			
	大海寺野	路傍	「奉修庚申塔者為青面大金剛培増法楽」	I	-	-	-	-	-	-	大正9	1916			
	六郎丸	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2				○	
	横枕	少彦名社	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2				□	
	道坂	路傍	青面金剛 1面6手	C	有	1	2	4	3	2				□	
	平沢	路傍	青面金剛	E	有	0	2	0	2	2?				□	
滑川市	坪川	一里塚	青面金剛 1面6手	E											
	常盤町	路傍	青面金剛	E										○	
	加島町	加積雪嶋神社境内	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-					
	同	同	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-					
	大島	路傍	「庚申墳」	A	-	-	-	-	-	-					
	追分	海恵寺境内	「庚申塔」	A	-	-	-	-	-	-					
	四ツ屋	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	0	0	0	0	0				○	
	中野島	路傍	青面金剛 3面6手	E	無	1	2	0	0	0					
	法花寺	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	0	0	0	3	0				□	
上市町	眼目	立山寺墓地	「青面金剛」	H	-	-	-	-	-	-					
	和合	公民館	三宝荒神 3面6手	B	無	-	-	-	3	0	安政4	1857			
立山町	日中	地藏堂	青面金剛 1面6手	E	有	0	0	0	0	0				○	
	金剛新	渡辺家	青面金剛 1面6手合掌	E	無	0	0	0	0	0	享和元	1801		○	

	横内	路傍	青面金剛 1面6手	E	?	?	0	0	0	0				□	
	横内	路傍	青面金剛 1面6手合掌	E	?	1	0	0	0	0				□	
	太田南町	路傍	青面金剛 1面6手合掌	E	無	1	0	0	3	2				○	
	西ノ番	路傍	青面金剛 1面6手	D	有	1	2	4	3	2	明治15	1882			庚申真言を刻む
	関	関神社境内	青面金剛 1面6手	E	無	2	0	0	3	0	文政13	1830		□	
	石田	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	0				□	
	経力	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	0	文政3	1820		○	
	南金屋	路傍	青面金剛 1面6手	E	無	2	0	0	0	2				□	
	上栄	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	0	文化14	1817		○	
	下千俵	公民館	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	2				○	
	月岡	月岡新神社	青面金剛 1面6手	E	無	2	0	0	3	0				○	
	月岡新	大塚家	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	2	文政3	1820		○	
	中布目	路傍	青面金剛 1面6手合掌	E	有	0	0	0	3	2				○	
	上布目	公民館	青面金剛 1面6手合掌	E	有	0	0	0	3	2				○	
	新保	路傍	青面金剛 1面6手合掌	E	有	0	0	0	3	2				□	
	東老田	本浄寺	青面金剛 1面6手	F	有	1	2	4	0	0				○	
	中老田	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	2	0	3	2	文化13	1816		○	
射水市	堀岡	路傍	「庚申塚」	G	-	-	-	-	-	-					
	七美柳瀬	路傍	青面金剛 1面6手	E	無	2	2	0	3	2				○	
	七美中野	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	2	0	3	2				○	
	中新湊	江柱庚申堂	青面金剛 1面6手	B	有	2	2	0	3	2	文政13	1830		○	
	放生津	路傍	「庚申塚」	G	-	-	-	-	-	-	嘉永2	1849			
	加茂	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	2	0	0	3	2	文政9	1826		○	
	大江稻積	路傍	青面金剛 1面6手	E	有	0	0	0	0	0				○	
	北手崎	路傍	青面金剛 1面4手	E	有	2	0	0	3	2	文政5	1822		□	
	白銀町	眞福寺境内	青面金剛 1面6手	E	有	?	0	0	1	1	享保9	1724		○	
	高寺	路傍	青面金剛 1面4手	E	無	2	0	0	3	2	天保6	1835		□	
	新町	心光寺前	青面金剛 1面6手	F	無	2	0	0	3	0				○	
	青井谷	翁徳寺境内	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-	明治41	1908			
	串田新田	地藏堂	青面金剛 1面6手	E	無	2	0	0	0	0				○	
砺波市	東保	田中観音堂	「庚辛塚」	I	-	-	-	-	-	-					
	宮森	山岸家	「庚申塚」	I	-	-	-	-	-	-					
	頼成	路傍	青面金剛 1面4手	G	無	1	0	0	0	0					
	上和田	路傍	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-	文久3	1863			
	三合	路傍	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-					
	千代	大喜院	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-	明治19	1886			
	広上町	路傍	青面金剛 1面6手	G	無	2	2	4	0	0				○	
	中野	路傍	青面金剛 1面6手合掌	E	有	0	0	0	2	0				□	
	庄川町前山	路傍	烏枢沙摩明王 1面6手	E	無	1	0	0	0	0				□	
南砺市	北川(井波今町)	路傍	「南無金剛神」	G	-	-	-	-	-	-				□	
	下吉江	個人宅	「庚申塔」												県外へ移動?
高岡市	金屋町	宗泉寺	青面金剛 1面6手	E	無	2	0	0	0	0	明治			○	
	手洗野	路傍	3猿	A	-	-	-	-	3	-				□	
	戸出春日	路傍	「庚申塚」	H	-	-	-	-	-	-	明治34	1901			
	西二塚	玉川庵前	青面金剛 1面6手	E	無	2	2	0	3	2				□	
	伏木古府	長徳寺境内	青面金剛 1面6手	E	有	2	2	0	3	2				□	
	伏木一宮	路傍	3猿	I	-	-	-	-	3	-					
	太田辰ノ口	路傍	三宝荒神 3面6手	G	-	-	-	-	-	-	昭和4	1929			「三面金神」
	石塚	神明宮境内	「庚申」								平成18	2006			
	赤丸	浅井神社	1猿	I	-	-	-	-	1	-					
氷見市	朝日本町	千手寺境内	1 青面金剛 1面6手	E	有	0	0	0	0	0					
	同	同 境内	2 青面金剛 1面6手	E	有	1	0	0	0	0					

北大町	個人宅	「青面金剛王」	H	日	-	-	-	-	-				
余川京地	興聖寺	青面金剛 1面6手	B	無	0	0	0	0	0				
宇波	観音寺本堂内	青面金剛 1面6手	F	有	1	2	0	3	0	享和3	1803	○	
白川	路傍	青面金剛 1面6手	F	有	1	2	0	3	2			○	
長坂	路傍	青面金剛 1面6手	F	有	1	2	0	2	0				

